



# 一 般 質 問 通 告 書

平成 28 年 2 月 12 日

前

午後 4 時 45 分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成 28 年 2 月 12 日

湖西市議会議長 二橋 益良様

湖西市議会議員 佐原佳美



質問方式 (○を付ける)	
番号	主 題
1	介護予防・日常生活支援総合事業開始にあたり地域包括ケアシステム構築の進捗状況は
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	介護予防・日常生活支援総合事業開始にあたり地域包括ケアシステム構築の進捗状況は

### 質 問 の 要 旨

(質問しようとする背景や経緯)

団塊の世代が75歳以上となる2025年に、医療と介護の需要が急増する予測に対応する為、2014年(平成26年)「医療・介護総合確保推進法」が公布されました。

この推進法により、医療法、介護保険法などの関連法を順次改正し、

\*消費税を財源とした基金による医療と介護の連携強化

\*効率的かつ効果的な医療体制の構築

\*医療と介護の壁を取り去り、一人一人の自立を支える多職種連携に住民も参加の地域包括ケアシステムの構築

など、将来の地域における医療と介護の受け皿を確保する総合的な取組みがされていますが、当市に於いても「介護予防・日常生活支援総合事業」(介護保険要支援判定者の通所介護、訪問介護事業が介護保険事業から新しい介護予防事業に移行)が、県下でも先行して新年度より開始される予定にて、それを中心に地域包括ケアシステム構築の進捗状況等を伺う。

(質問の目的)

当市の地域包括ケアシステムが、住民の地域支え合い活動と医療・介護・リハビリ等の専門職、ボランティア団体・NPO、民間サービス事業者等を巻き込み、育成しながら、住民が安心して住み続けたい地域づくりとして構築できるよう、市がリーダーシップを発揮して欲しいため。

(質問事項)

1. 当市においては、介護保険要支援判定者の介護予防サービスが「介護予防・日常生活支援総合事業」へ平成28年4月より移行、開始予定である。スケジュールにあった意向調査の結果や委託契約事業所、利用者負担金額、利用者・市民周知等、移行事務の経過や状況は。

2. 地域包括ケアシステムにおいて市全体を第1層、中学校区や地域包

括支援センター単位を第2層、市も超える場合もある支援地域を第3層として基盤を区切り、生活支援体制整備を計ろうとしているが、そこで中心となる生活支援コーディネーターの人選や配置人数、活動範囲の検討はどこまでできているのか。

3. 第1層のトップとなる生活支援コーディネーターの人選は、どのような基準で依頼するのか。
4. 第1層から3層の協議体は、どのように設置するのか。
5. 地域包括ケアシステム構築にさきがけ、平成27年4月から医療・介護総合確保推進法の中で特養入所者を原則要介護3以上としたり、平成27年8月からは、一定以上の所得のある利用者の介護保険利用料が2割負担になったり、減免がなくなったりしている。利用者にはご理解頂き問題なく推移しているか。
6. 平成28年1月8日期限で地域密着型小規模特養を1カ所29人以下定員で募集していたが、要件を満たす応募はあったか。
7. 地域包括ケアシステム構築には、縦割り行政を排してあらゆる課や団体との連携が必要となり、職員に包括する、まとめる能力が必要となる。介護保険スタート時よりも大変な一般住民を巻き込むリーダーシップが必要な事業と思われる。地方創生の総合戦略と同等の職員の体制整備をすべきと思うがいかがか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

# 一 般 質 問 通 告 書

平成 28 年 2 月 23 日

前  
午 11 時 30 分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成 28 年 2 月 23 日

湖西市議会議長 二橋 益良様



湖西市議会議員 佐原佳美



質問方式 (○を付ける)		<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題	
2	市長施政方針説明について	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
2	市長施政方針説明について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>市長の新年度施政方針説明の内容に疑問な点があるため。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>当市の施政に喫緊、最重要施策を網羅して欲しい。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 『平成 28 年度当初予算（案）の概要』には、「主要事業の概要」の2「ふれあいあふれる、はつらつとしたまち」や「健康福祉部重点事業の概要」に介護保険事業として「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう「介護予防・日常生活支援総合事業」の導入「在宅医療・介護連携の推進」「認知症施策の推進」「生活支援サービスの体制整備」の早期実現に取り組む「地域包括ケアシステム」の構築を目指します。」とあるが、市長の施政方針の中には「地域包括ケアシステムの早期構築を」が無かった。</p> <p>地方創生、一億総活躍社会と連動している重要施策ととらえているが、市長の認識はいかがか。</p>	



# 一 般 質 問 通 告 書

平成 28 年 2 月 15 日

前  
午 9 時 47 分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成 28 年 2 月 15 日

湖西市議会議長 二橋益良様

湖西市議会議員 渡辺 貢 

質問方式 (○を付ける)	<input type="checkbox"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
1	18 歳以上選挙権拡大への対応と投票率の向上に向けた取組みについて
2	湖西病院の一部療養病床転換計画の挫折に対する対応について
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	18歳以上選挙権拡大への対応と投票率の向上に向けた取組みについて
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>公職選挙法の改正により、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、今年の夏の参議院選挙から適用される予定です。</p> <p>その一方、投票率の低下傾向が問題となっている中で、特に20代の投票率はこれまでの選挙でも全体に比べかなり低い傾向にあると言われていています。</p> <p>選挙権年齢引き下げを機に、投票率向上のための選挙啓発活動の充実と併せ、若年層の政治への関心がより深まるような主権者教育が必要とされています。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>若者が当然のように投票に行く社会を目指し、選挙権年齢引き下げをきっかけとした、投票率向上のための選挙啓発活動と併せ、若年層が政治への関心が持てるような主権者教育の充実についての考えを伺う。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 選挙管理委員長は、今回の選挙権年齢引き下げの意義をどのように受け止めているか？</li> <li>2. 選挙管理委員会は、低投票率の原因をどのように捉え、対応しようとしているか。特に新たに選挙権を付与された対象者年齢を意識した選挙啓発活動として、国会で改正法が成立した以降の対応状況と今後の取組みについての考えは？</li> <li>3. 教育長は、選挙権年齢18歳引き下げの法改正を踏まえ、教育現場における主権者教育についてどのように捉えているか？ 新たな取り組みへの考えは？</li> <li>4. 去る2月中旬、「政府は、公職選挙法の改正案を閣議決定した。今国会に提出し夏の参議院選挙からの実現を目指す。」というニュースが流れました。 投票率を向上させるため、利便性が高い場所に「共通投票所」を設置できるなどの内容だが、このことをどのように受け止め、その対応策についての考えは？</li> </ol>	

番号	主 題
2	湖西病院の一部療養病床転換計画の挫折に対する対応について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>本市の療養病床は、近隣市は勿論全国平均より著しく少なく、それを踏まえ慢性期医療への取組みとして湖西病院の改装が進められてきた。供用を待ち望んでいた市民の失望は大である。</p> <p>市民会館の耐震補強、湖西病院の一部療養病床転換計画の挫折については、結果として、多額の大切な税金を無駄にすることになってしまった。</p> <p>今後このようなことを繰り返すことの無いよう、組織としてこれまでの経過を反省し何等かの取組みを検討する必要があると思う。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>高齢者が増える中、見舞いに行き易い、より近距離への慢性期医療施設を望む声が多い中での対応策を伺う。</p> <p>市民会館の耐震補強、湖西病院の一部療養病床転換計画の挫折について、今後の教訓とすべき点は何か、その対応について伺う。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 湖西病院の計画見直しを受け、湖西市として慢性期医療への取組みはどのように対応する考えか？</li> <li>2. 今回の2事業の挫折について、組織としてどのように反省し、情報収集やリスク管理など職員の専門研修機会の充実等、何らかの取組みを検討する考えは？</li> </ol>	



# 一 般 質 問 通 告 書



平成 28 年 2 月 15 日

前  
午 10 時 25 分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成 28 年 2 月 15 日

湖西市議会議長 二橋 益良 様

湖西市議会議員 福永桂子



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
1	市民のための市役所を目指したサービスの充実（日曜開庁など） について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	市民のための市役所を目指したサービスの充実（日曜開庁など）について
質 問 の 要 旨	
<p data-bbox="236 521 730 560">（質問しようとする背景や経緯）</p> <p data-bbox="217 575 1406 1095">市役所を一種の公的な企業体とも言うべき存在であると捉え、民間の企業体と比較すると、市役所に課せられた業務を実施する上での義務的な性格が見えてきます。民間企業は、市場の動向に常に注意を払い、市場の求める製品やサービスを提供しなければ、企業の存続すら危ういものとなり、社員の生活を保証することが難しくなります。市役所は、法律で定められた税金を徴収することで、市役所の存続はもとより、市職員の生活も保証されています。それ故にこそ、市民や企業（以後、お客さまとする）は、税を徴収される対価として、お客さまが求めるサービスを、お客さまの置かれた状況に応じて、お客さまに納得するように提供してもらいたいと願っているはずです。</p> <p data-bbox="217 1113 1406 1417">少子高齢化が加速化する状況を踏まえれば、今後、高齢者の介護問題、障害者を抱えた家庭の問題、子育てや教育問題等、市民が抱える問題は複雑多岐にわたり深刻度を増していきます。そこで、市役所は公的なサービス産業としての性格をますます強めていくと思われまます。市役所がどのような方向性を持って行政運営を行っているのかを、市民に示す事は大切です。</p> <p data-bbox="236 1489 448 1527">（質問の目的）</p> <p data-bbox="217 1545 1406 1742">更なる市民のための市役所を目指して頂きたい。湖西市役所の提供するサービスの享受や施設の利用について、関係する市民や市域に立地する企業に対して公平・公正に門戸が開かれ、提供するルールがすべて明らかにされ、誰にでも分かるように透明化されているか。</p> <p data-bbox="236 1865 411 1904">（質問事項）</p> <p data-bbox="217 1919 1406 2063">1. 市役所は究極のサービス業であると考えます。市長は有権者から選ばれ、湖西市の市政運営に責任を有しておられますが、市役所の存続及び職員の生活は財政破綻しない限り保証されていることを踏まえ、市役所の仕</p>	

事をどのように捉えていますか。

2. 市長は、市役所の提供するサービスが、お客さまの求めるサービスであり、お客さまの置かれた状況に適合する形で、公平性、公正性、透明性の三要件を担保されて提供されていることを確認されたことがありますか。

3. 市民にとって、土日曜日は、基本的に自分のために自由につかうことができる日です。仕事等の関係で平日に市役所に行きにくい市民の為に、お客さまの置かれた立場に最大限に配慮したサービスとして、日曜日に市役所を開庁するお考えはありますか。

4. 施設の利用等について、申込み方法・駐車場・減免申請などのルールが、関係する市民に対して、十分に伝わっていないように感じますが、ルールはどのような形で開示されていますか。また、申込み期間などの施設ごとに取り扱いが異なる部分を見直す予定はありますか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

# 一 般 質 問 通 告 書



平成28年2月12日

前  
午10時45分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成28年2月12日

湖西市議会議長 二橋益良 様

湖西市議会議員 高柳達弥



質問方式 (○を付ける)		一問一答・一括の質問答弁・一括と一問一答
番号	主 題	
1	行財政改革の進捗状況について	
2	健康・福祉施策推進のための体制整備について	
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	行財政改革の進捗状況について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>平成22年3月23日に湖西市と新居町が合併して6年を迎える。</p> <p>また、翌年から新・湖西市総合計画がスタートして5年になる。合併により・住民の利便性の向上、・住民サービスの向上、・広域的視点に立ったまちづくり、・行財政の効率化などの効果を期待して、市民協働で創る「市民が誇れる湖西市」の将来像を目指して、新・総合計画のもと様々な事業が実施されてきた。</p> <p>そこで、これまでの行政、財政の運営状況を検証し、来たる人口減少社会、少子高齢化対策のために、いっそうの行財政改革を行っていくことが必要と考える。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>「市民が誇れる湖西市」実現のため、合併の効果と行財政改革の取り組み成果を伺う。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 合併して、翌年には新・総合計画のもとさまざまな事業が実施されてきたが、その成果と合併の効果をどのように捉えているか。</li> <li>2. 効率的で効果的な行財政運営について、これまでの取り組み成果は。</li> <li>3. 行政組織の見直し等の実施状況はどうか。</li> <li>4. 歳入確保のための施策はどうか。</li> <li>5. 歳出削減の取り組み成果は。</li> <li>6. 財政の効果的な運営成果は。</li> </ol>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	健康・福祉施策推進のための体制整備について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>本格的な人口減少社会を迎えるなか少子高齢化に伴う社会保障施策の推進が喫緊の課題であります。新・湖西市総合計画のまちの姿では、ふれあいあふれる、はつらつとしたまちを実現するには、1 健康づくり、2 疾病予防、3 地域医療、4 地域福祉、5 児童福祉、6 障害者（児）福祉、7 高齢者福祉を総合的に推進し、国の進めるまち・ひと・しごと創生総合戦略との相乗効果により誰もが、健やかに、いきいきと、安心して暮らせる福祉の充実したまちづくりが求められている。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>健康・福祉部門において、人口減少、少子高齢化対策の施策を推進するため。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新・湖西市総合計画のもと、地域福祉計画、障害者計画、子ども・子育て支援プラン、高齢者プランなど多くの事業を抱えさらにまち・ひと・しごと創生総合戦略を実行する場合、現在の健康・福祉部門の組織体制の整備が必要であると考えますがどうか。</li> <li>2. 福祉部門には、社会福祉士などの資格を有する専門職員の育成や採用が必要と考えますがどうか。</li> <li>3. 健康・福祉部門の事務事業を見直すべきと考えますがどうか。</li> </ol>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること